

情 報 公 開 文 書

研究の名称	周術期口腔機能管理に関する後ろ向き観察研究
受付番号	340
研究機関の名称	富山赤十字病院
研究責任者	富山赤十字病院 歯科口腔外科 副部長 石戸克尚
研究の概要	<p>【研究対象者】 富山赤十字病院歯科口腔外科で周術期口腔機能管理を行った症例。</p> <p>【研究の目的】 周術期口腔機能管理は2012年に保険収載されました。その背景として周術期における口腔衛生管理のエビデンスが示されてきたことが挙げられ、肺癌患者において呼吸器リハビリテーションや禁煙とともに、術前の専門的口腔清掃や歯磨き、舌の清掃が術後肺炎の発症を予防するという報告や口腔衛生管理の介入による気管内細菌数および検出菌種の減少や術後肺炎の頻度の減少とともに術後の経口摂取中断期間と術後在院期間の短縮が報告されています。さらには食道癌手術症例による後ろ向き研究で、解析により術後肺炎の発症の予防に周術期口腔機能管理が有効であることが示されているなど、これまでに数多くの報告がなされています。これらの報告を参考に当科でも周術期口腔機能管理を積極的に行ってまいりました。</p> <p>そこで本研究では後ろ向き観察研究により、周術期口腔機能管理の実態を把握し検討することにより、よりよい治療戦略を考案することを目的とします。</p> <p>【研究方法】 電子カルテデータを用いた後方視的研究。 個人を識別できる情報（氏名、住所、生年月日等）を削除し独自の符号を付し、プライバシーの保護には細心の注意を払います。</p> <p>【研究期間】 2023年2月28日から2024年3月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 日本口腔ケア学会（2024年4月予定）に発表を予定します。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法	<p>主要評価項目：口腔ケアの内容、鎮痛薬・麻酔薬の使用量、含嗽薬・軟膏の使用、有害事象発生率、口腔粘膜炎の発生率及び重症度、予後、治療評価</p> <p>副次評価項目：口腔清掃状態の評価</p>
試料・情報の管理責任者	富山赤十字病院 歯科口腔外科副部長 石戸克尚
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望および個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>担 当 者 富山赤十字病院 歯科口腔外科 石戸克尚</p> <p>電話番号 076-433-2222</p> <p>受付時間 平日 14時～16時</p>